

《研究集会の記録》

Kyoto University European History Seminar

7 October 2022 活動報告

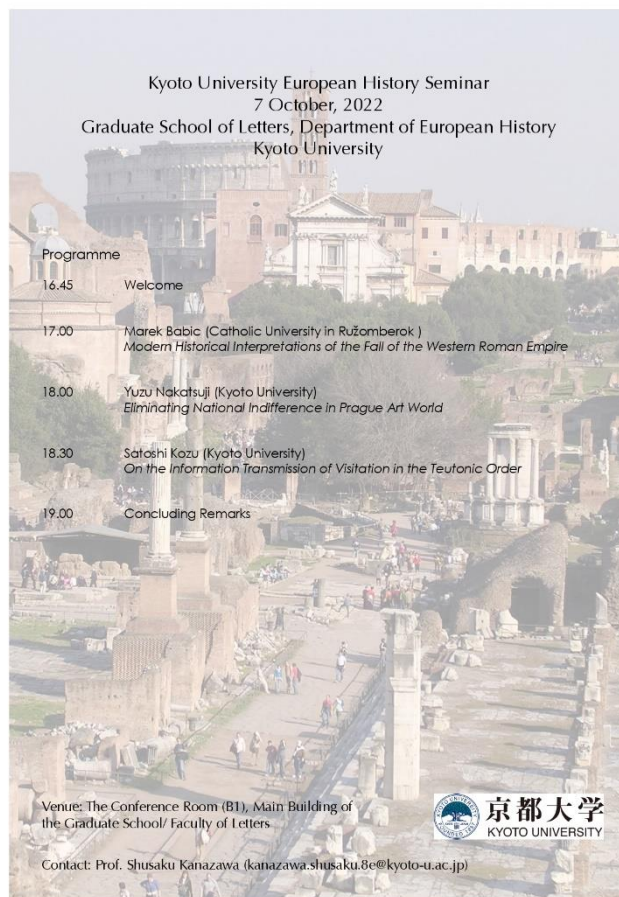
神津 智史

2022 年 10 月 7 日、京都大学文学部校舎地下 1 階大会議室にて、Kyoto University European History Seminar が対面にて開催された。

最初に、ルジョンベロク・カトリック大学（Catholic University in Ružomberok：スロバキア共和国）所属の西洋古代史研究者である、マレク・バビッチ（Marek Babic）博士によって近代歴史学研究におけるローマ帝国衰亡論の解釈の変遷とそれを巡る問題についての記念講演が行われた。そしてバビッチ博士の講演の後に、京都大学大学院博士後期課程の中辻柚珠氏と筆者が研究報告を行った。中辻氏の報告はプラハのマーネス造形芸術家協会の事例を題材としたナショナル・インディファレンス（National Indifference）についての内容、筆者の報告はドイツ騎士修道会の巡察における情報伝達についての内容であった。

記念講演・研究報告後の質疑応答では活発に議論が交わされ、非常に多くの学びがあった。

（京都大学大学院博士後期課程）



本研究会のポスター